



11月24日

## 関東・東北豪雨を受けて国土交通省の緊急行動 防災担当者セミナーと現地共同点検を実施！

近年、雨の降り方が局地化、集中化、激甚化しており、最上川でも鬼怒川や渋井川と同様の豪雨災害がいつ発生してもおかしくない状況にあります。こうした中、国土交通省では「避難を促す緊急行動」に取り組んでいます。これは、9月の関東・東北豪雨を受けて住民の方々の不安や懸念に伝えるために緊急的に実施する行動として、国土交通省が提起したものです。

「避難を促す緊急行動」の一環として管内では、11月24日に大石田町役場において管内市町職員・地域住民・警察・消防等関係者と合同でセミナーを開催しました。セミナーでは洪水予報・水防予報の基準や避難勧告・指示等に着目した防災行動計画について説明を行いました。その後、危険箇所について現地で共同点検を実施し、危機管理についての情報共有を図りました。



▲セミナーの様子（大石田町役場）



▲共同点検の様子（毒沢）

## 油流出事故に注意！

事故の多くが人的ミスによるものです。

最上川の水質事故の発生件数は、国が管理する東北12水系の中で最も多く、**去年はワースト1位**となっています。今年の発生件数も11月末現在ワースト1位です。原因の多くは、**灯油などの油類の流出**によるもので、暖房器具などの使用が増える**冬に多発**しています。

**油の回収に要した費用は、事故を起こした原因者が負担することになります。**

### 油流出事故を防ぐための心掛け

#### ①その場を離れない

ホームタンクなどから灯油を小分けするときは絶対にその場から離れないようにしましょう。

#### ②配管の場所には目印を

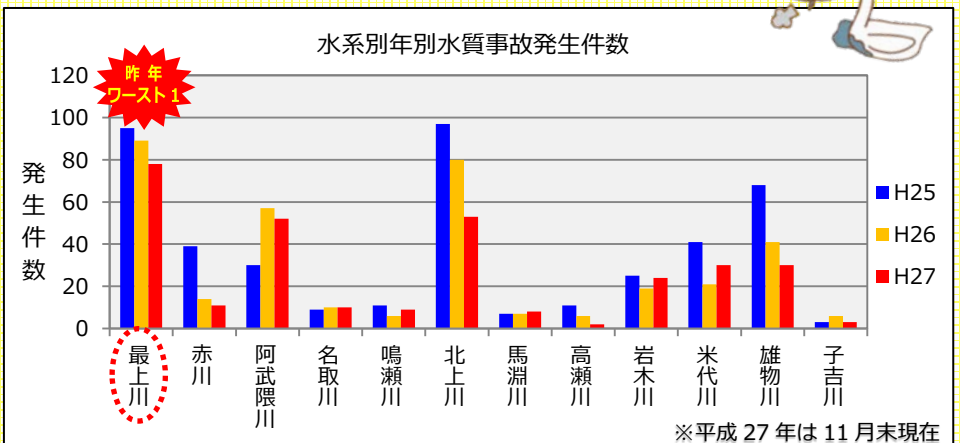
除雪による配管の破損を防ぐために目印を立てておきましょう。

#### ③落雪に注意して

屋根からの落雪による配管の破損・脱落やホームタンクの転倒に注意しましょう。

#### ④定期点検を怠らない

配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。



★事故を起こした場合や発見した場合は、お近くの消防署・警察署・市町村役場、国や県の機関等へご連絡ください。

10月29日

## 油流出事故の対応訓練を実施！



オイルフェンス横断工法設置訓練の様子



オイルフェンス組立訓練の様子

河川への油流出事故が多発する冬を前に、最上川水質汚濁対策協議会では、迅速で確実な事故対応技術を習得するための訓練を山形市の須川河川敷にて行いました。訓練には、国・県・最上川流域の市町村など関係者約120人が参加し、事故発生元での油回収訓練やオイルフェンス横断工法設置訓練・半月工法設置訓練などを行いました。

11月4日

大石田小5年生



# 出張講座「土砂災害」実施!

大石田小5年生クラスで土砂災害についての出張講座を行いました。

「土砂災害はどのような災害か?」「どうやって土砂災害を防ぐのか?」などをパネルを使って説明し、その後、土石流を防ぐための「砂防堰堤」の役割について模型実験を行いながら学習しました。



土砂災害パネル説明の様子



土石流模型実験の様子



大石田小5年生のみなさん

# 聞かせて!現場代理人さん

インタビューに答えてもらうのは...

(工事名) 最上川中流大石田地区維持工事  
(施工業者) 株式会社 新庄砕石工業所  
(現場代理人) 矢口 昌志 さん



## 工事概要

大石田町と尾花沢市を流れる最上川と、丹生川の良好な河川環境を維持するために、堤防除草や河川構造物の維持・補修を行っています。また、洪水時には堤防に異常がないか等巡視を行っています。

## 現場代理人さんにインタビュー

### ①大変なことは?

災害が発生すると昼夜を通して作業しなければならないことです。

### ②工事をするにあたり気をつけていることは?

事故を起こさないよう安全には細心の注意を払っています。

### ③地域の方々へ一言!

堤防の作業等で通行される皆様にご不便をおかけする時があるかもしれませんが、ご協力の程、よろしくお願いいたします。



▲9月12日、渋井川(宮城)での排水作業の様子

12月9日

# 水門等水位観測員 講習会 実施

水門等水位観測員講習会が大石田町役場にて行われました。この講習会は毎年1回実施しています。講習会では、樋管操作時の留意点や点検整備についての再確認、今年9月の豪雨災害について説明を行いました。

参加された観測員の皆さんは、真剣な表情で受講され、出水時に迅速的確な対応ができるよう万全の体制を整えました。



講習会の様子



## 水門等水位観測員ってな~に?

水門等水位観測員は、川の水位が上昇し、宅地側に逆流の恐れが生じたときに、担当する排水樋管に出動し、水位を観測します。逆流が生じた場合は、ゲートの閉鎖を行い、逆流の心配がなくなった時点でゲートを開放する仕事です。水門等水位観測員は、各排水樋管の近隣に住んでいる方に委託しています。大石田出張所管内では50名の観測員の方が業務にあたっています。

▼堤防沿いで見かけるコレ!これが「排水樋管」です!



今宿第1排水樋管



大石田第3排水樋管

※今年度より「樋管操作員」→「水門等水位観測員」に名称変更されました。

## 【発行】

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 大石田出張所 (担当: 田子内・秋久保)

〒999-4113 大石田町大字今宿字鷺の原 466-2

(TEL)0237-35-2024 (FAX)0237-35-2354

ホームページも見てください!

新庄河川

検索

<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjiyou>